

01

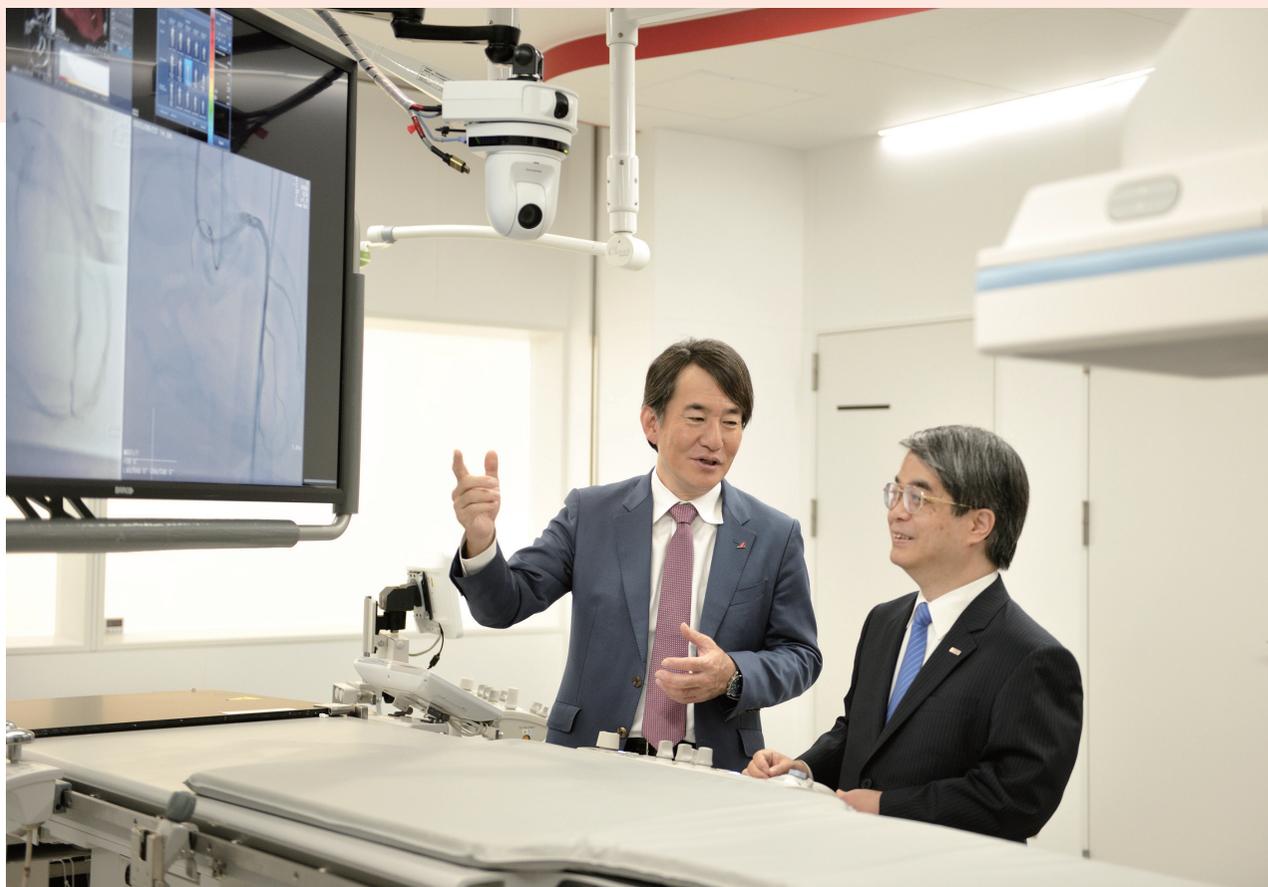
Dialogue with investors

社長・投資家対談

■ 社長メッセージ 1-1

■ 社長・投資家対談 1-2

- ・朝日インテック入社の経緯と上場以降の歩み
- ・次の成長に向けた種まき、礎づくり
- ・持続的成長の実現に向けた取り組み



グローバル本社・R&Dセンター シミュレーションルーム

社長メッセージ

| 1-1

中長期にわたって確実に成果を上げ、 事業の持続可能性を高める サステナブル経営を 実践していきます。

この度は、「朝日インテック 統合報告書2023」をご覧いただき、ありがとうございます。朝日インテック株式会社 代表取締役社長の宮田昌彦でございます。

当社が医療機器分野に参入して、30年を迎えようとしています。私自身は、産業機器分野を主たる事業としていた当社が、まさに医療機器分野に本格参入した1994年に、当社へ入社しました。2009年より、代表取締役社長として経営の舵取りを担ってまいりましたが、2011年のタイ洪水による主力工場の浸水、2020年からの新型コロナウイルス禍、競合企業のM&A活発化や医療制度改革といった事業環境の変化等々、今日に至るまでの事業運営は決して平坦な道のりではありませんでした。

その中でも日本・米国・欧州等における自社製品の直接販売など、当社の更なるグローバル展開を着実に実行してまいりました。いかなる環境下であっても「当社の技術力で、一人でも多くの患者様の命を救う製品をつくり、世界中にお届けする」という強い思いのもと、従業員とともに一つひとつの課題を乗り越えることによって、一步一步着実に成長への歩みを進めていくことができました。



グローバル本社・R&Dセンター内

社長メッセージ

| 1-1



グローバル本社・R&Dセンター GHQスタジオ

当社は現在、中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』に基づき、事業運営を行っています。持続的な成長へ向け「既存事業の深化」と「新規事業の創出」という「両利きの経営」を進めており、コロナ禍においても、将来を見据えた投資を止めることなく継続しています。

そして私自身は「新規事業の創出」、特にスマートガイドワイヤー、ナビゲーションシステム、遠隔治療などの実現へ向け、「次世代スマート治療」に関する取り組みを、自らリーダーシップを取り、強化しています。

コロナ禍では、全世界的にウェブ会議、非対面診療、DXなどが浸透し、当面先の未来での実現が予想されていた新たな

テクノロジーや行動様式が急速に普及しました。これらの変化同様、我々の医療機器業界における変革も、当初考えていたスピードを超えて格段に速くなっていると実感しています。変化の激しい時代においては、変化への適応やスピード感をもった意思決定が極めて重要であると考えています。我々が描く未来の実現へ向けて、特に新たな医療革新を目指していく新規領域の創出においては、私自身が強くコミットし、スピード感をもって、着実に進めてまいる決意です。

そして、それらの挑戦を進める中でも、医師や顧客の方々のニーズを叶えるためにスピード志向で愚直に取り組む姿勢や、当社の根底に流れる技術・現場志向のDNAは今後も変わることはありません。これからも挑戦の手を緩めることなく、朝日インテックらしさを活かし、強固な「グローバルニッチトップ」ポジションを築いていくことで、当社ならではの価値を、ステークホルダーの皆様方にお届けすることにより、社会に貢献してまいりたいと思います。

また、事業運営は企業だけで行っているものではありません。環境・社会・経済の観点からも責任を果たし、期待に応えていくことが、企業の責務であると考えています。そのために、当社は社会の一員として環境問題や社会問題に対しても正面から向き合っており、取り組みを進めていき、一方で経済活動においても中長期にわたって確実に成果を上げていくことで、事業の持続可能性を高めるサステナブル経営を実践していきます。

社長メッセージの結びとして、以下事項を私よりお約束いたします。

1. 中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』を実現してまいります。
2. 当社の長期的な成長を見据えて、次世代スマート治療の実現へ向けた新規事業の立ち上げを自ら力強く推進してまいります。
3. 成長の原動力として、既存技術と新規技術を融合した、継続的な技術イノベーションを創出してまいります。
4. トップダウンとボトムアップの両面から、全社レベルでサステナビリティの取り組みを進めてまいります。
5. ステークホルダーの皆様に対する責任を果たすとともに、皆様との対話を重ねてまいります。

具体的な当社の長期展望と成長戦略、企業文化、経営体制につきましては、本統合報告書の社長・投資家対談(13ページ~)の中でお話しをさせていただきましたので、ぜひともご一読くださいますよう、よろしくお願いいたします。

朝日インテック株式会社 代表取締役社長

宮田 昌彦